

## 愛知県経済の現状と見通し < 2015年2月 >

### 1. 景気判断 一覧表

部門	個別項目	基調判断(方向等)	基調判断の 前月との 比較(注1)	水準評価 (注2)
		詳細		
総括判断	景気の現状	景気は一部で回復に向けた動き ----- 消費増税等の影響が残存するものの、一部では回復に向けた動き。		
	当面の見通し	景気は緩やかに持ち直す見通し ----- 雇用・所得環境の堅調さや外需の回復を背景に、景気は緩やかに持ち直す見通し。		
家計部門	個人消費	持ち直しの兆し ----- 勤労者世帯・消費支出の前年比マイナス幅が大幅に縮小。		
	雇用	堅調 ----- 有効求人倍率は3か月連続で上昇し、全国でも高水準で推移。		
	住宅投資	減少 ----- 住宅着工戸数は、消費増税の影響により7か月連続で前年比減少。		
企業部門	企業活動	やや弱い動き ----- 鉱工業生産指数は2か月連続の前年比マイナス。		
	企業倒産	減少傾向 ----- 企業倒産は、件数、負債金額ともに減少傾向。		
海外部門	輸出	回復傾向 ----- 名古屋港の輸出金額は2か月ぶりに前年比増加。		
公共部門	公共投資	減少 ----- 公共工事請負金額は7か月連続の前年比減少。		

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、 : 上方修正、 : 据え置き、 : 下方修正を示す。

(例えば、「回復」「減速」となれば下方修正、「回復」「回復」なら据え置き、となる)したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、 : 晴、 | : 晴～曇、 : 曇、 | : 曇～雨、 : 雨、 : 雨を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 立道
	電話: 059-354-7102 Mail: mir@miebank.co.jp

2. 個別項目の動向：家計部門

<b>基調判断</b>	持ち直しの兆し		
基調判断の前月との比較	→	水準評価	

**現状**  
『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、12月の名古屋市内百貨店販売額は前年比 +1.8%と、7か月連続の増加。品目別にみると、主力の衣料品(同 +1.1%)が2か月連続でプラスとなったほか、宝石、腕時計などを含むその他(同 +2.9%)が2か月ぶりに増加したことが要因。外国人観光客の増加に伴い、外国人向けの売上也拡大傾向。

一方、1月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、28,099台・前年比 20.3%と2か月ぶりに減少。消費増税前の駆け込み需要の反動の影響が大きく、マイナス幅は消費増税以降最大。車種別にみると、普通車(同 34.1%)、軽乗用車(同 16.6%)がともに大幅マイナスとなったことが主因。

また、『家計調査』より個人消費の動向を支出者側からみると(図表3)、12月の勤労者世帯・消費支出(名古屋市内)は前年比 0.9%と4か月連続の減少ながら、マイナス幅の縮小傾向が持続。

**見通し**  
雇用環境が堅調に推移するなか、徐々に所得環境も改善に転じることで、個人消費は緩やかな回復基調を辿る見通し。原油安や、物価上昇ペースの鈍化に伴う実質購買力の回復が消費者マインドの改善要因となり、持ち直しの動きが進む可能性も。乗用車については、消費増税の影響が残存するなか、本格回復には時間を要する見通し。

**図表1 名古屋市・百貨店販売額 <前年比、既存店ベース>**

(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売」

**12月 名古屋市・百貨店販売額**  
498億円 前年比 +1.8% (7か月連続の増加)

**図表2 新車乗用車販売台数 <前年比>**

(資料) 日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」

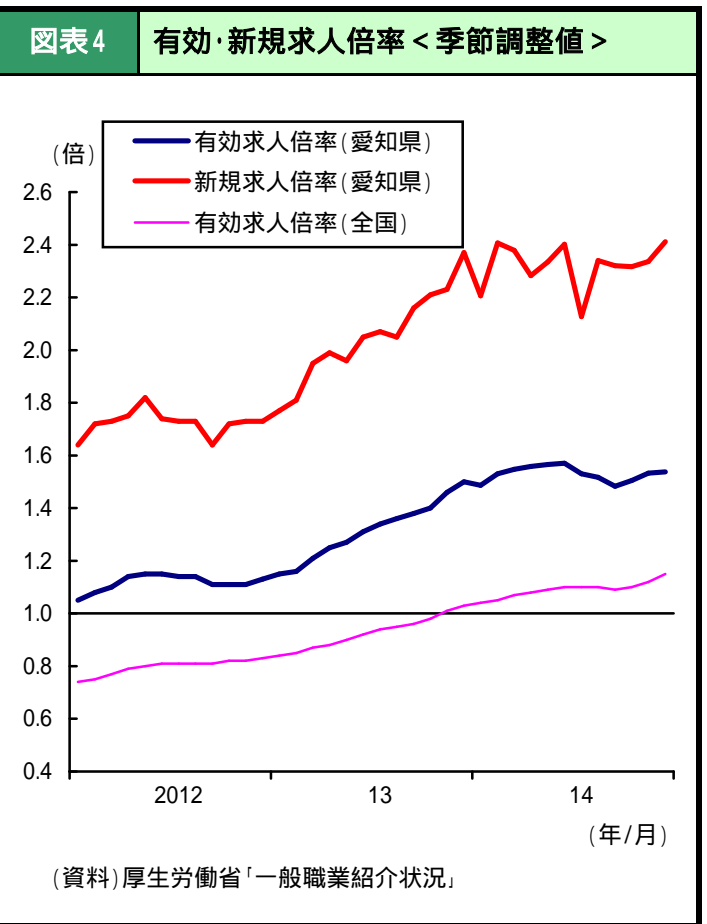
**1月 新車乗用車販売台数 <含む軽>**  
28,099台 前年比 20.3% (2か月ぶりの減少)

**図表3 名古屋市・消費支出等 <前年比>**

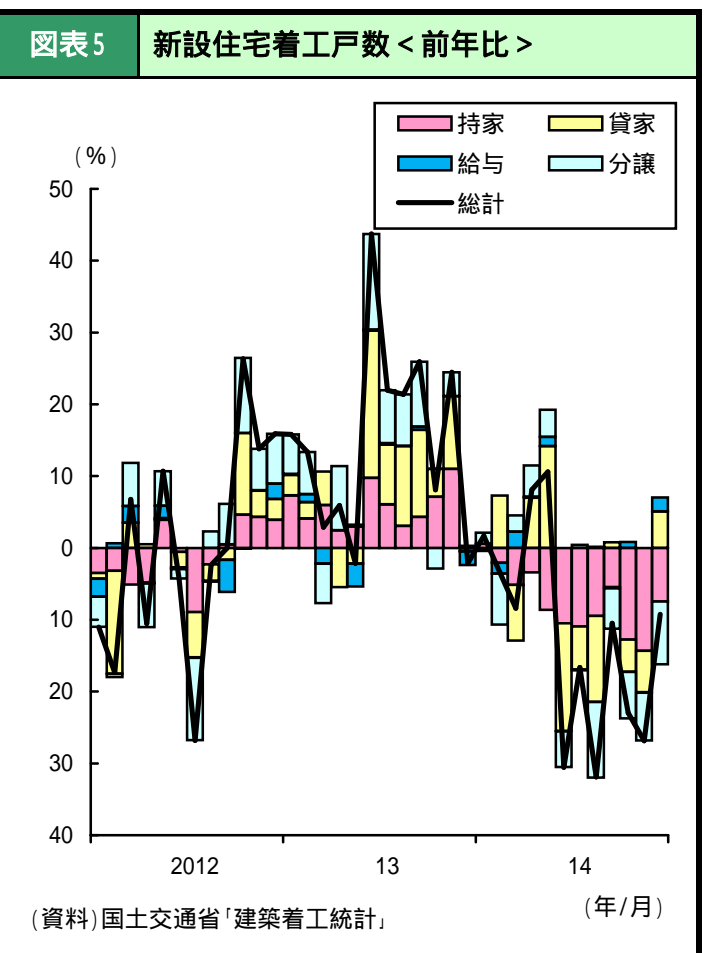
(資料) 総務省「家計調査」

**12月 勤労者世帯・消費支出**  
前年比 0.9% (4か月連続の減少)

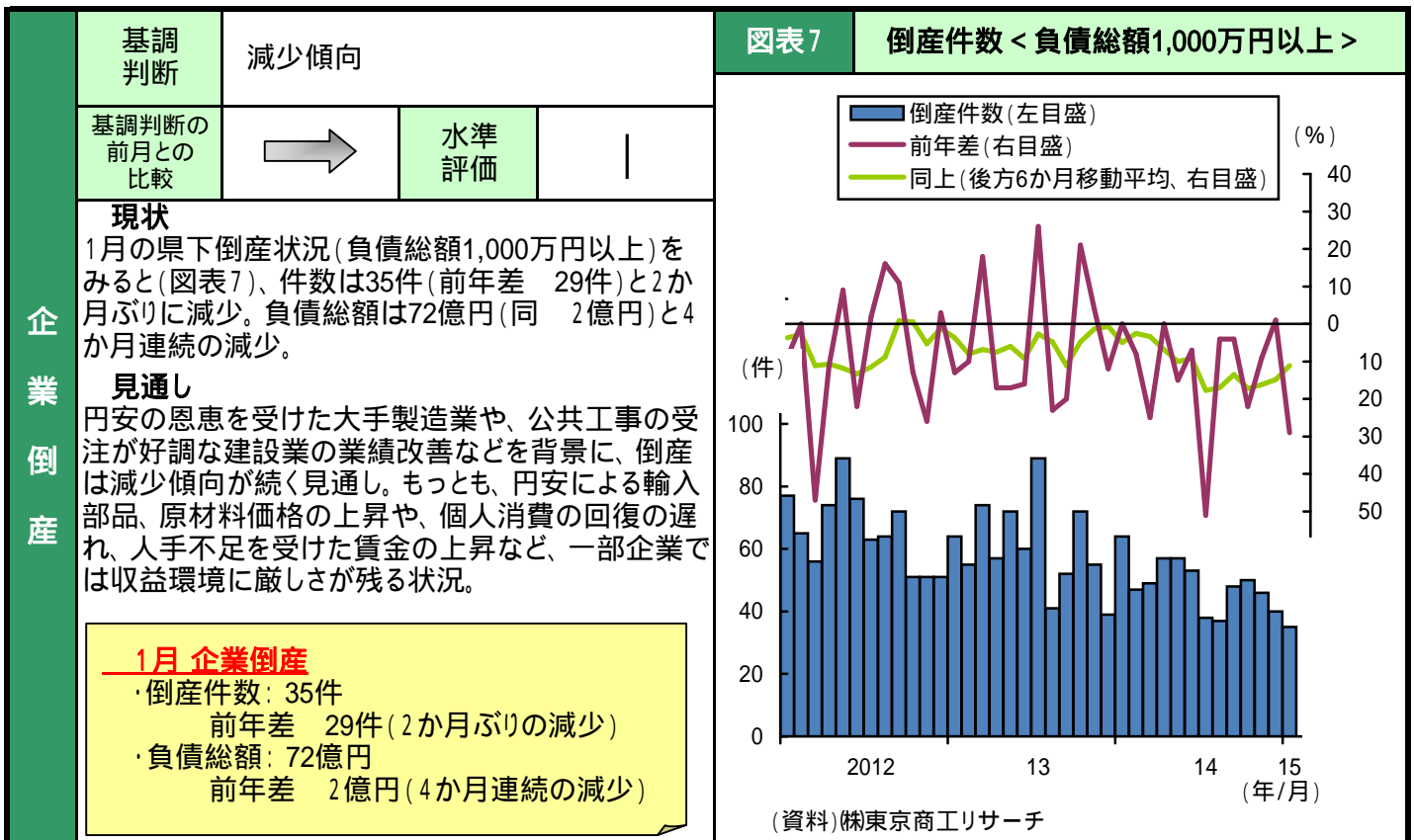
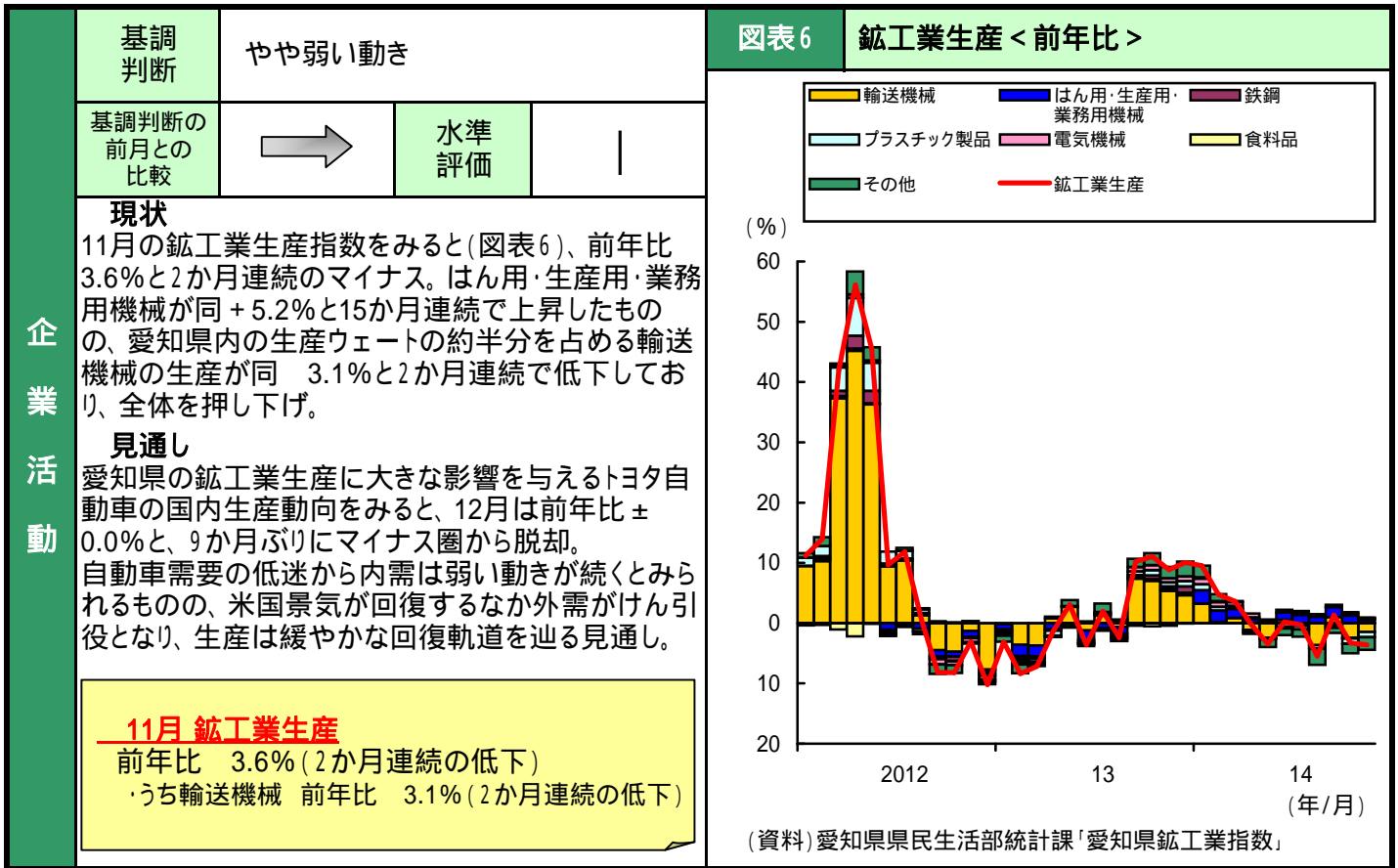
雇用	基調判断	堅調		
	基調判断の前月との比較	➡	水準評価	
	<p><b>現状</b>                  12月の有効求人倍率(季節調整値)は1.54倍と、3か月連続で上昇したほか、新規求人倍率(同)は2.41倍と、2か月連続で上昇。ともに全国レベルでも高水準での推移が持続。                  新規求人数は、前年比 1.9%と3か月連続の減少。主要産業別にみると、外国人観光客の増加などを背景に宿泊業、飲食サービス業(同+29.4%)が12か月連続で増加した一方、製造業(同 -21.3%)は大幅に減少。  <b>見通し</b>                  人手不足感の強い卸売業・小売業やサービス業など、非製造業の雇用環境は底堅く推移する一方、主力産業である自動車生産の停滞を受け、製造業では弱い動きが続く見通し。</p>			
<p><b>12月 求人倍率&lt;季節調整値&gt;</b>                  ・有効求人倍率:1.54倍                  前月差+0.01ポイント(3か月連続の上昇)                  ・新規求人倍率:2.41倍                  前月差+0.08ポイント(2か月連続の上昇)</p>				



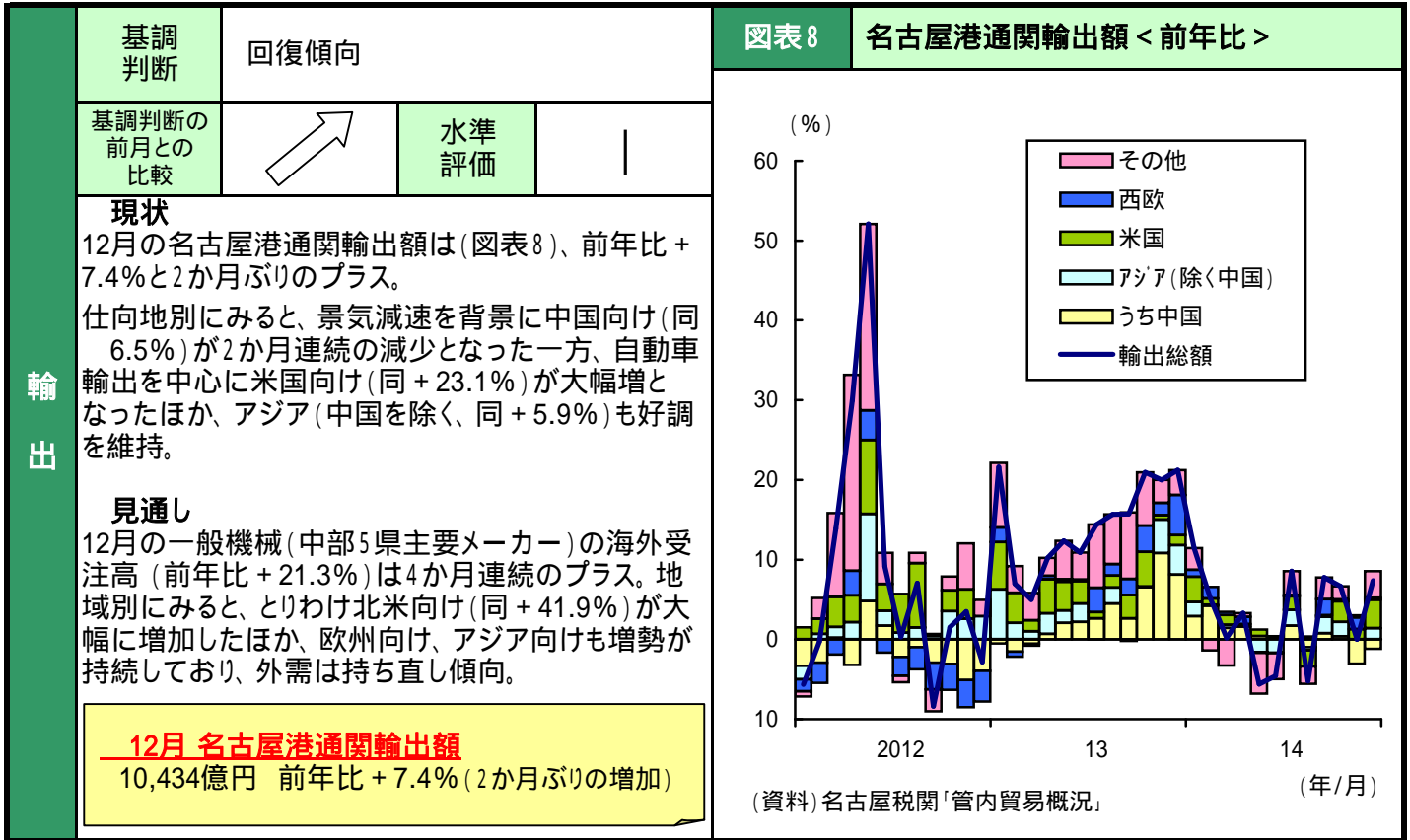
住宅投資	基調判断	減少		
	基調判断の前月との比較	➡	水準評価	
	<p><b>現状</b>                  12月の住宅着工戸数は(図表5)、前年比 9.2%と7か月連続の減少。利用関係別にみると、貸家(同+14.9%)が3か月ぶりに増加したものの、持家(同19.3%)、分譲(同 32.1%)のマイナスが持続し、全体を大きく押し下げ。  <b>見通し</b>                  消費増税による駆け込み需要の反動が長期化しているものの、住宅エコポイント制度の再開により持ち直しに転じる見込み。2015年3月から受付が開始され、2016年3月末までに着工された住宅が対象となるため、1年程度は押し上げに作用する見通し。</p>			
<p><b>12月 住宅着工戸数</b>                  4,769戸 前年比 9.2%(7か月連続の減少)                  ・持家:1,636戸                  前年比 19.3%(11か月連続の減少)                  ・貸家:2,046戸                  前年比 +14.9%(3か月ぶりの増加)                  ・分譲住宅:978戸                  前年比 32.1%(5か月連続の減少)</p>				



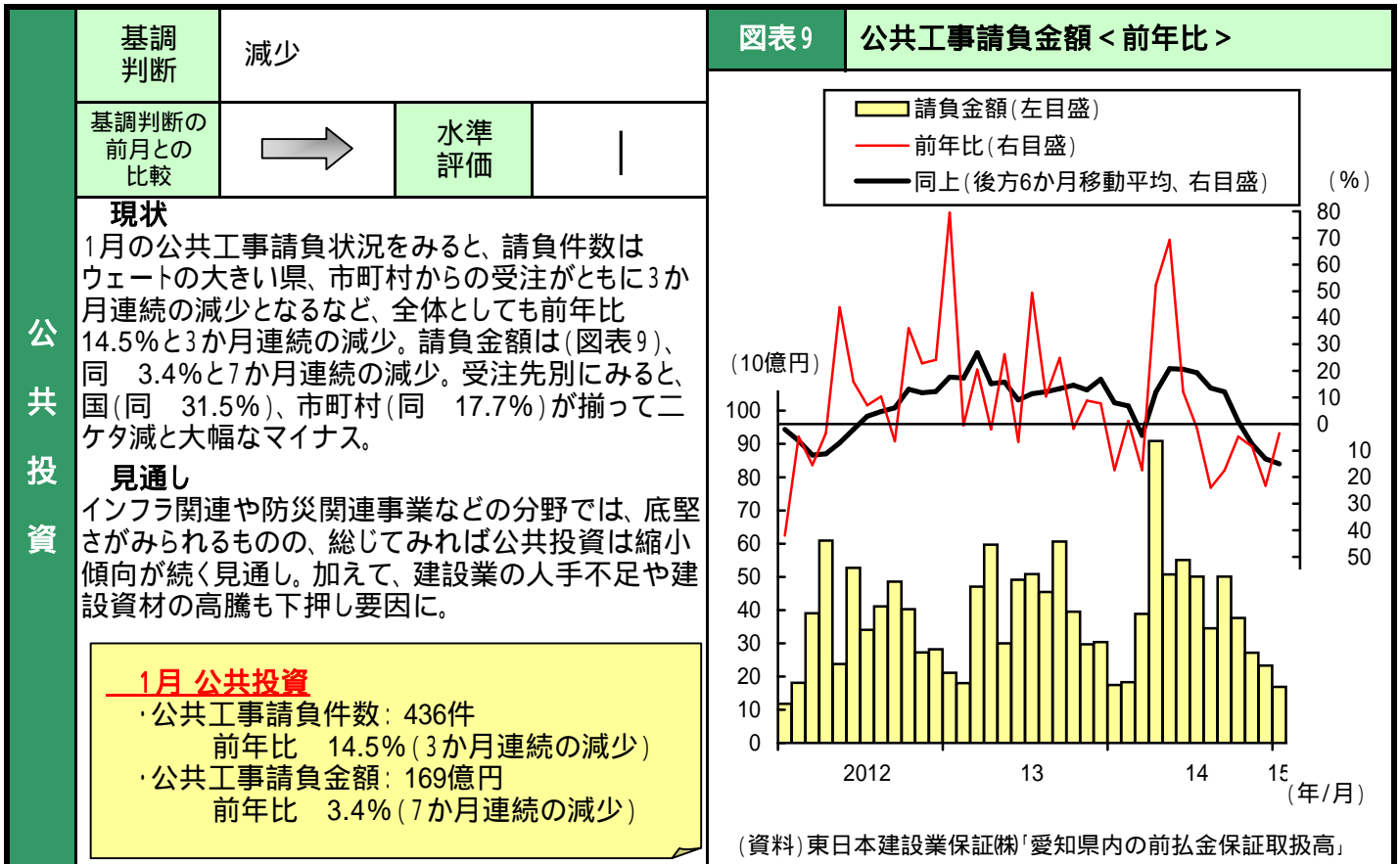
3. 個別項目の動向: 企業部門



4. 個別項目の動向: 海外部門



5. 個別項目の動向: 公共部門



以上

# 景気指標

三重銀総研  
2015/2/26

## < 愛知県 >

(注) ( )内は前年(同期(月))比 < >内は季節調整済前期(月)比

	2013年	2014年	2014年				2014年				2015年
			1~3	4~6	7~9	10~12	9月	10月	11月	12月	
鉱工業生産指数	( 1.3) -		( 5.8) < 4.2>	( 1.1) < 3.6>	( 1.2) < 3.6>		( 1.4) < 6.7>	( 3.3) < 2.4>	( 3.6) < 2.5>		
大口電力消費量(百万KWh)	25,184 ( 1.0)	25,565 ( 1.5)	6,357 ( 6.7)	6,297 ( 0.7)	6,646 ( 0.5)	6,265 ( 0.5)	2,233 ( 0.1)	2,162 ( 2.8)	2,057 ( 0.1)	2,046 ( 1.7)	1,980 ( 3.1)
新設住宅着工戸数(戸)	64,478 ( 14.6)	55,888 ( 13.3)	14,257 ( 3.4)	13,876 ( 7.3)	13,882 ( 20.1)	13,873 ( 20.1)	5,101 ( 10.5)	4,753 ( 23.0)	4,351 ( 26.8)	4,769 ( 9.2)	
非居住用建築物着工床面積(千㎡)	3,700 ( 19.1)	3,796 ( 2.6)	831 ( 12.1)	933 ( 3.3)	891 ( 7.7)	1,141 ( 38.3)	247 ( 24.3)	450 ( 64.0)	328 ( 49.2)	363 ( 9.6)	
公共工事請負金額(億円)	4,815 ( 13.1)	4,941 ( 2.6)	746 ( 13.5)	1,968 ( 41.8)	1,346 ( 14.2)	882 ( 11.5)	500 ( 17.5)	377 ( 4.7)	272 ( 8.5)	233 ( 23.3)	169 ( 3.4)
大型小売店販売額(店舗調整済)	( 1.2)	( 1.9)	( 8.8)	( 2.6)	( 1.1)	( 0.3)	( 2.7)	( 0.4)	( 0.4)	( 0.2)	
百貨店	( 4.1)	( 4.7)	( 18.5)	( 4.3)	( 3.3)	( 1.4)	( 6.2)	( 0.5)	( 1.7)	( 1.8)	
スーパー	( 0.2)	( 0.5)	( 4.0)	( 1.8)	( 0.1)	( 0.3)	( 1.1)	( 0.4)	( 0.3)	( 0.8)	
新車登録・販売台数(台)	256,568 ( 4.3)	256,917 ( 0.1)	86,127 ( 15.4)	51,279 ( 2.9)	63,279 ( 4.3)	56,232 ( 10.7)	24,587 ( 6.9)	18,401 ( 12.5)	19,474 ( 9.8)	18,357 ( 9.8)	18,731 ( 22.0)
有効求人倍率(季調済)	1.31	1.53	1.52	1.57	1.51	1.53	1.48	1.50	1.53	1.54	
新規求人倍率(季調済)	2.04	2.32	2.33	2.34	2.26	2.35	2.32	2.32	2.34	2.41	
名目賃金指数(調査産業計)	( 11.0)		( 0.2)	( 0.5)	( 3.0)		( 1.3)	( 0.4)	( 3.6)		
実質賃金指数(同)	( 0.9)		( 1.6)	( 3.4)	( 0.6)		( 2.3)	( 3.7)	( 0.7)		
所定外労働時間(同)	( 0.0)		( 5.1)	( 4.0)	( 4.0)		( 5.0)	( 3.2)	( 1.7)		
常用雇用指数(同)	( 0.2)		( 0.7)	( 1.0)	( 0.9)		( 0.8)	( 0.9)	( 0.7)		
企業倒産件数(件)	730	586	160	167	123	136	48	50	46	40	35
(前年同期(月)差)	( 59)	( 144)	( 33)	( 22)	( 59)	( 30)	( 4)	( 22)	( 9)	( 1)	( 29)
名古屋港 輸出(億円)	110,584 ( 14.3)	113,745 ( 2.9)	27,106 ( 5.2)	27,393 ( 2.2)	28,842 ( 3.8)	30,405 ( 4.8)	10,062 ( 7.8)	10,694 ( 6.7)	9,277 ( 0.0)	10,434 ( 7.4)	
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	( 0.1)	( 2.5)	( 1.4)	( 3.2)	( 2.9)	( 2.7)	( 2.9)	( 3.0)	( 2.6)	( 2.5)	

## < 東海3県(三重・愛知・岐阜) >

	2013年	2014年	2014年				2014年				2015年
			1~3	4~6	7~9	10~12	9月	10月	11月	12月	
鉱工業生産指数	( 0.6) -	( 4.5) -	( 9.5) < 5.6>	( 2.4) < 5.1>	( 3.4) < 2.5>	( 2.5) < 0.3>	( 5.6) < 2.1>	( 1.8) < 2.8>	( 0.1) < 1.7>	( 6.1) < 1.3>	
新設住宅着工戸数(戸)	87,806 ( 14.8)	76,030 ( 13.4)	19,002 ( 4.3)	18,755 ( 10.7)	18,767 ( 18.2)	19,506 ( 18.7)	6,725 ( 11.9)	6,711 ( 19.7)	6,219 ( 24.6)	6,576 ( 10.9)	
大型小売店販売額(全店)	( 1.0)	( 2.4)	( 8.1)	( 1.9)	( 1.8)	( 1.7)	( 3.6)	( 1.1)	( 2.0)	( 1.9)	
同 (既存店)	( 0.7)	( 1.4)	( 7.6)	( 2.6)	( 0.6)	( 0.0)	( 2.0)	( 0.2)	( 0.0)	( 0.1)	
有効求人倍率(季調済)	1.21	1.43	1.41	1.45	1.42	1.44	1.39	1.41	1.44	1.46	
新規求人倍率(季調済)	1.87	2.12	2.13	2.14	2.06	2.16	2.13	2.13	2.10	2.24	
企業倒産件数(件)	1,015	859	240	236	186	197	67	72	63	62	49
(前年同期(月)差)	( 71)	( 156)	( 15)	( 30)	( 62)	( 49)	( 4)	( 31)	( 18)	( 0)	( 39)
域内外国貿易 純輸出(億円)	60,891	58,786	11,701	14,243	14,704	18,139	5,288	6,458	5,439	6,242	
輸出(億円)	151,826 ( 15.0)	157,876 ( 4.0)	37,453 ( 8.2)	37,827 ( 1.9)	39,935 ( 4.1)	42,660 ( 5.9)	13,943 ( 6.2)	14,658 ( 5.2)	13,126 ( 0.9)	14,876 ( 11.5)	
輸入(億円)	90,936 ( 11.0)	99,090 ( 9.0)	25,753 ( 19.7)	23,584 ( 5.6)	25,232 ( 7.8)	24,521 ( 3.6)	8,656 ( 9.8)	8,200 ( 6.1)	7,687 ( 1.5)	8,634 ( 3.1)	